

## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月12日

上場会社名 株式会社ニーズウェル 上場取引所 東  
 コード番号 3992 URL <https://www.needswell.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船津 浩三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 塚田 剛 TEL 03-6265-6763  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	2,818	0.3	306	14.8	301	12.7	206	14.7
2020年9月期第2四半期	2,809	3.1	267	0.3	267	0.3	179	△3.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	23.81	23.44
2020年9月期第2四半期	21.19	20.99

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	3,466	2,628	75.7
2020年9月期	2,997	2,231	74.5

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 2,624百万円 2020年9月期 2,231百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年9月期の業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	8.1	537	9.0	537	4.4	370	6.5	41.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	9,051,200株	2020年9月期	8,505,200株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	232株	2020年9月期	232株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	8,662,699株	2020年9月期2Q	8,484,555株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明会について）

機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を下記の要領で開催します。

日 時：2021年5月26日（水）15:30～16:30

場 所：兜町平和ビル 第3セミナールーム（東京都中央区日本橋兜町3丁目3番地）

開催形式：当日のライブ配信の他、後日当社ウェブサイトにて動画と書き起こし全文を公開予定

内 容：業績報告・成長戦略・質疑応答

参加方法：日本証券アナリスト協会のウェブサイトからお申込みください。

担 当：CC室

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、2021年1月から首都圏及び近畿・東海地方を中心に2度目の新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が発出され、サービス消費の弱含みが続いた一方、企業活動においては設備投資が持ち直しつつあり、特にソフトウェア投資が高い伸びとなるなど、明るい兆しもみられております。

当社が属する情報サービス産業は、引き続きDX（Digital Transformation）の取組みの強化・拡大による大きな変革期にあり、新型コロナウイルス感染症の収束までは投資の抑制による落ち込みが強く懸念されるものの、中長期的にはIoT・自動運転・AI・クラウド・エッジコンピューティング・ブロックチェーン・5G等に加え、テレワークの広がりによるセキュリティ対策や人手を介さないRPA（Robotic Process Automation：業務自動化ロボット）等への需要が増加すると予測しております。今後も感染の再拡大や、それに対する各種の施策、ワクチンの開発・接種が国内外の経済環境に与える影響と、企業のIT投資計画の動向を注視してまいります。

このような状況のもと、当社では2021年3月に株式会社総研システムズと資本業務提携契約を締結し、これまで以上に多くの優秀な開発人材の供給を受けられる協業体制を整えました。

事業のサービスラインである「業務系システム開発」は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、依然として製造業向け案件の一部に延期等が発生しているものの、携帯電話の料金改定に伴うシステム開発等、通信業界向けの案件が引き続き好調に推移しました。また、物流分野においては、2021年夏のリリースをめざしてWMS（倉庫管理システム）のパッケージ開発を進めております。

「基盤構築」は、「業務系システム開発」や「ソリューション・商品等売上」と連携したトータル受注により、安定して開発を継続しました。

「コネクティッド開発」は新型コロナウイルス感染症の拡大により製造業向け案件で影響が出ているものの、安定して開発を継続しました。

「ソリューション・商品等売上」は、独自のソリューションやサービスの提供により他社との差別化に注力し、好調に受注を拡大しております。特に、SAP® Concur®が提供するConcurシリーズの導入サービスにおいては、テレワークの広がりや2020年10月の電子帳簿保存法の改正も追い風となる中、当社独自のソリューションとして提供しているSpeed Expense Assist（Speed EA）、Invoice Process Automation（Invoice PA）等が好評で、多くの受注を獲得しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、前年同期割れとなった第1四半期累計期間をカバーし、2,818,736千円（前年同期比0.3%増）となりました。

売上総利益においては、効率化を推し進め、709,955千円（前年同期比8.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費は403,032千円（前年同期比4.4%増）、営業利益は306,922千円（前年同期比14.8%増）、経常利益は301,136千円（前年同期比12.7%増）、四半期純利益は206,254千円（前年同期比14.7%増）となりました。

なお、当社は情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

当第2四半期累計期間における事業のサービスライン別の売上高を示すと、次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高（千円）	構成比（%）
業務系システム開発	2,156,543	76.5
基盤構築	283,398	10.1
コネクティッド開発	100,527	3.6
ソリューション・商品等売上	278,267	9.9
合計	2,818,736	100.0

（注）当社は、第1四半期会計期間よりコネクティッド技術の強化を目的に「コネクティッド開発」を新設し、事業のサービスラインを再編成しております。このため、当第2四半期累計期間においては前年同期との比較は行っておりません。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は3,466,172千円となり、前事業年度末と比較して468,621千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が258,813千円増加、売掛金が181,161千円増加、投資有価証券が28,155千円増加、繰延税金資産が18,748千円増加、前払費用が11,620千円増加し、一方で、仕掛品が26,027千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は838,128千円となり、前事業年度末と比較して72,385千円の増加となりました。これは主に、買掛金が44,433千円増加、賞与引当金が40,806千円増加、未払法人税等が22,919千円増加し、一方で、未払消費税等が31,689千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,628,044千円となり、前事業年度末と比較して396,235千円の増加となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ163,449千円増加、利益剰余金が70,175千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べて258,813千円増加し、1,918,744千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、126,663千円となりました。

これは主に、税引前四半期純利益の計上額301,136千円、仕入債務の増加額44,433千円、賞与引当金の増加額40,806千円、たな卸資産の減少額26,171千円、減価償却費の計上額12,593千円等によるキャッシュ・フローの増加と、売上債権の増加額181,161千円、法人税等の支払額91,956千円、未払消費税等の減少額31,689千円等によるキャッシュ・フローの減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、54,996千円となりました。

これは主に、投資有価証券の取得による支出35,000千円、無形固定資産の取得による支出19,174千円等によるキャッシュ・フローの減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、187,146千円となりました。

これは主に、株式の発行による収入317,083千円によるキャッシュ・フローの増加と、配当金の支払額135,841千円によるキャッシュ・フローの減少によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月12日の「2020年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,780,116	2,038,930
売掛金	689,963	871,124
仕掛品	41,541	15,513
原材料	1,840	1,743
貯蔵品	494	447
前払費用	34,090	45,710
その他	9,272	2,216
貸倒引当金	△4,142	△5,230
流動資産合計	2,553,175	2,970,456
固定資産		
有形固定資産		
建物	39,317	39,516
減価償却累計額	△4,875	△6,131
建物(純額)	34,441	33,385
器具及び備品	18,573	19,196
減価償却累計額	△14,041	△14,910
器具及び備品(純額)	4,532	4,285
有形固定資産合計	38,974	37,670
無形固定資産		
ソフトウェア	58,673	65,342
その他	253	248
無形固定資産合計	58,927	65,590
投資その他の資産		
投資有価証券	83,620	111,775
出資金	5	5
繰延税金資産	97,110	115,859
敷金及び保証金	85,533	84,610
保険積立金	76,546	76,546
その他	3,658	3,658
投資その他の資産合計	346,473	392,454
固定資産合計	444,375	495,716
資産合計	2,997,551	3,466,172

（単位：千円）

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	101,846	146,279
未払金	137,702	132,175
未払法人税等	107,695	130,614
未払消費税等	106,470	74,781
前受金	2,030	1,018
預り金	38,950	39,604
賞与引当金	265,297	306,104
役員賞与引当金	5,750	7,550
流動負債合計	765,743	838,128
固定負債		
固定負債合計	—	—
負債合計	765,743	838,128
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	415,279	578,728
資本剰余金		
資本準備金	271,679	435,128
資本剰余金合計	271,679	435,128
利益剰余金		
利益準備金	783	783
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,521,260	1,591,435
利益剰余金合計	1,522,043	1,592,218
自己株式	△177	△177
株主資本合計	2,208,824	2,605,898
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,983	18,234
評価・換算差額等合計	22,983	18,234
新株予約権	—	3,911
純資産合計	2,231,808	2,628,044
負債純資産合計	2,997,551	3,466,172

(2) 四半期損益計算書  
 (第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,809,900	2,818,736
売上原価	2,156,421	2,108,781
売上総利益	653,479	709,955
販売費及び一般管理費	386,186	403,032
営業利益	267,292	306,922
営業外収益		
受取利息	10	11
助成金収入	—	588
保険解約返戻金	—	1,003
雑収入	26	433
営業外収益合計	37	2,036
営業外費用		
株式交付費	90	7,822
雑損失	36	—
営業外費用合計	126	7,822
経常利益	267,203	301,136
特別損失		
本社移転費用	4,750	—
特別損失合計	4,750	—
税引前四半期純利益	262,453	301,136
法人税、住民税及び事業税	81,252	111,535
法人税等調整額	1,395	△16,653
法人税等合計	82,647	94,882
四半期純利益	179,806	206,254



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	262,453	301,136
減価償却費	11,809	12,593
差入保証金償却額	3,171	923
貸倒引当金の増減額(△は減少)	363	1,087
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,897	40,806
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,780	1,800
受取利息及び受取配当金	△10	△11
助成金収入	—	△588
保険解約返戻金	—	△1,003
株式交付費	90	7,822
売上債権の増減額(△は増加)	△60,455	△181,161
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,152	26,171
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△25,366	△11,499
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,975	44,433
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,682	△31,689
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△14,611	△738
その他	36	—
小計	217,457	210,081
利息及び配当金の受取額	10	11
保険解約返戻金の受取額	—	1,003
助成金の受取額	—	7,523
法人税等の支払額	△78,897	△91,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,571	126,663
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△50,493	△35,000
定期預金の預入による支出	△10,186	△10,187
定期預金の払戻による収入	10,185	10,186
定期積金の預入による支出	△132,000	△132,000
定期積金の払戻による収入	132,000	132,000
有形固定資産の取得による支出	△19,695	△821
無形固定資産の取得による支出	△1,581	△19,174
敷金及び保証金の差入による支出	△8,000	—
敷金及び保証金の回収による収入	3,399	—
その他の支出	△3,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,372	△54,996
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	219	317,083
配当金の支払額	△114,379	△135,841
新株予約権の発行による収入	—	5,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,160	187,146
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△54,961	258,813
現金及び現金同等物の期首残高	1,428,369	1,659,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,373,407	1,918,744

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間において、新株予約権の権利行使に伴い、資本金163,449千円、資本準備金163,449千円がそれぞれ増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が578,728千円、資本準備金が435,128千円となっております。

(セグメント情報)

当社は、ソフトウェア開発を中心とした情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントのため、記載を省略しております。